

地域団体等からのご意見

【目次】

番号	要望日	地域団体等	頁数
前団001	平成25年12月6日	大泉・水と緑を守る会	8
前団002	平成25年1月7日	大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会	9-12
前団003	平成25年1月7日	大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会	13-16
前団004	平成25年1月21日	大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会	17-20

「大泉・水と緑を守る会」からの要望(平成24年12月6日)

前団001-1

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

所長 吉岡 大蔵 様

平成 24 年 12 月 6 日

要 望 書

大泉・水と緑を守る会

中部横断自動車道の山梨県側ルートが従来の案よりやや東南側に変更されましたが、以下の理由で八ヶ岳南麓を通る高速道路建設に反対致します。

1. 「大泉・水と緑を守る会」では9月23日に「八ヶ岳の内部のことをもっと知ろう」という演題で講演会を行いました(同封の「八ヶ岳ジャーナル」10月1日号記事をご覧ください)。その講演会で、八ヶ岳が100万年以上前からの度重なる大噴火と崩壊によって、複雑な地層を持つ内部に豊富な水を蓄えた山であることを知り、それ故に八ヶ岳の山の動植物が生物多様性に富み、豊かな美しい景観を作りだしていることを学びました。新ルートも八ヶ岳南麓に位置し、ルート内には田圃も多く、また標高的にも多彩な野菜を作れる条件を備えています。このような場所に高速道路を作ること是不適切であると思います。
2. 日本海と太平洋を結ぶ輸送路が必要であるとしても、すべてを高速道路で結ぶ必要はないのではないでしょうか。今後人口が減る中で、利用台数の予測からこの地域に果たして高速道路が必要でしょうか。先のアンケートでも山梨県側の回答は、国道141号線の改良、バイパス整備などが多数を占めました。国の財政が厳しい中、無駄な公共事業は止めるべきで、141号線の改修案を是非復活させて下さい。
3. 笹子トンネルで大規模な天井板崩落事故が起きました。東日本大震災以降日本列島全体がますます地震活発化しているため、全国のトンネル・橋脚などがダメージを受けている可能性があります。国民の安全・安心第一の観点から、新たな高速道路を作るより先ず今ある高速道路の総点検・補修にお金を使うべきです。

よろしくご検討くださいますようお願い申し上げます。

以上

前団001-2



「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団002-1

平岩 洋三さま

北杜市大泉の住居を終の棲家にとってもって11年の歳月を送っているものです。昨年末に国交省から提案された新ルートが丁度真ん中に位置しています。当然ですが新ルート提案については反対です。新ルートの地域に住む者にとって静かな生活を奪われる不安と怒りは大きなものがあります。

ですから短期日で行政の末端組織である下井出地区東組(22世帯)で「高速道路反対対策委員会」が出来、さらに広い範囲での「新ルート沿線住民の会」が立ち上がろうとしています。

中部横断道の建設にあたって地域住民の意見を聞くことを最優先にしてほしいと考えています。以上から地域住民の意思を表している情報(チラシ等)を定期的に送らせていただきます。

前団002-2

静かな生活を破壊する 高速道路に反対します

11月21日発行の国交省の中部横断道の変更ルート図によりますと、ここ大泉町下井出地域を通ることが明らかにされています。

私たち大泉町下井出地域に生活をしている下井出東組(22世帯)は静かな生活を破壊する高速道路に反対します。

これまで提案されていたルートは八ヶ岳大橋を通り別荘地を通って長坂インターに至るものでした。そのルートが別荘地の多くの人たちの反対運動で立ち往生となり急遽、変更ルートが11月に発表されたのです。考えてください。下井出東組の多くの方は自然の中で静かな生活を求めてここ大泉にきた人たちです。美しい景観、美味しい水と空気、このかけがえのない財産を台無しにしてしまう高速道路はいりません。

大泉・高根のみなさん。私たちの「静かな生活を破壊する高速道路に反対」する運動にご理解くださるようお願いいたします。ともに変更ルート撤回に向けて声を上げることをお願いいたします。

本日12月8日に予定されていた現地調査は延期

本日12月8日に予定されていた現地調査は笹子トンネルの崩落事故のため延期されました。笹子トンネル崩落事故は、建設後30～40年経った高速道路の補修点検が急務であることを意味しています。

私たちの命を守るために、新しく高速道路を作るのではなく、今ある日本中の道路を入念に点検し、整備することが求められています。

住民アンケートでは、北杜市民の53%以上が、新しい高速道路建設ではなく、一般道(国道141号)の改良を望んでいます。住民の意向を尊重した施策を望みます。

2012.12.8 大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会

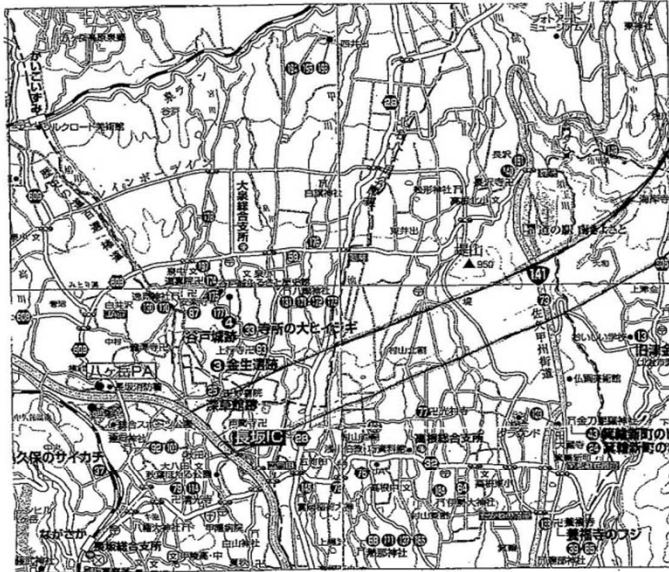
「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団002-3

前団002-4

資料 長坂インター周辺地図と変更ルート



この件についての問い合わせは

国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所計画課

TEL 055-254-6571

北杜市役所道路河川課

TEL 0554-42-1363

美しい景観・静かな生活環境を 守るため高速道路に反対します

趣意書

平成24年11月21日に、中部横断自動車道が長坂インターから大泉町下井出—高根町村山北割—須玉町海岸寺方面を横断する新ルート計画が国土省甲府河川国道事務所より公表されました。

この周辺には、多くの地元住民や美しい景観・静かな生活環境を求めて移住してきた人たちが自然と共生し過ごしています。

先の住民アンケートでは北杜市民の53%以上が、新しい高速道路の建設よりも、一般道(国道141号線)の改良を強く要望しています。

もうすぐ現地調査や住民への説明会が行なわれますので、私たちの声が活かされるよう、今一人でも多くの反対の声をあげることが必要です。

日本でも数少ない景観・環境に恵まれた美しい町を守りましょう！！

目の前に高速道路が通り、騒音や排気ガスなどで汚れた町にならないよう、

「高速道路反対」の運動にご協力をお願いします。



平成24年12月28日
大泉町下井出地区
東組高速道路反対対策委員会

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団002-5

高速道路建設に反対する立看板を設置しました



新ルート案沿線地権者のご協力をいただいて看板を立てました。

北杜市議会での質疑応答

12月21日に行なわれた北杜市議会で千野秀一・岡野淳・中村隆一・齊藤功文氏4名の議員が北杜市長に対し、計画の見直しを国に積極的に働きかけるよう求め、問題の大きさを示していました。

今後の見通し

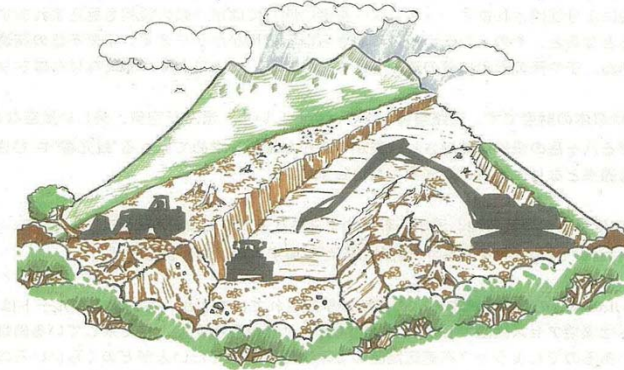
もうすぐ現地調査が行なわれ、また1月には地域住民への説明会が各地域で2回ずつ予定されており、それを既成事実として、早ければ3月には実施が決定されてしまいます。住民説明会や反対活動などを通じて今こそ多くの人々が強い反対の意思を示し、私たちの静かな生活を守らなければなりません。

一人でも多くの積極的な意思表示が必要です。

署名活動や国交省への抗議のハガキなどにご協力をお願いします。

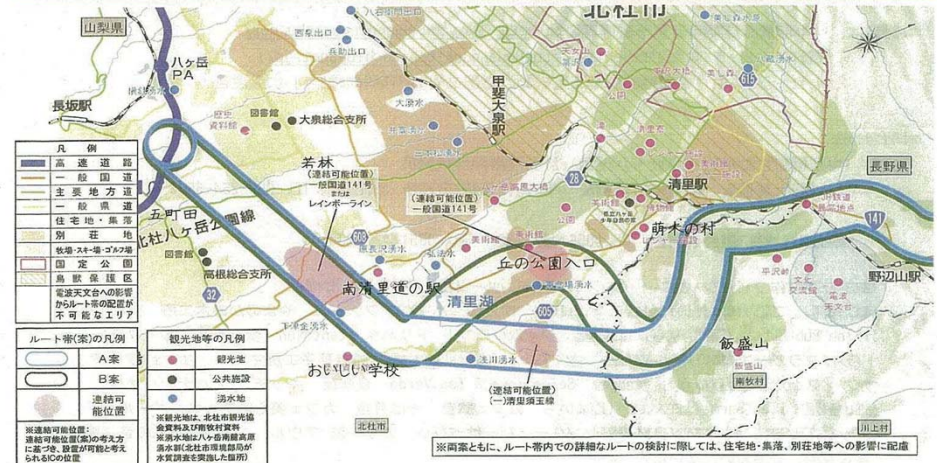
前団002-6

知っていますか？ 高速道路の新ルート案が発表されました！



計画段階評価中の高速は「整備なし」の可能性もあります。今後、国交省主催の住民説明会が6地域で12回開催されます。内容は2時間中、30分が説明、1時間半は住民との意見交換の予定です。これは、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい国の取り組みの試行です。私たちが意見を言わなければ、2月末でも新ルート的高速道路整備が確定するかもしれません！より多くの方に、早くこの情報を知らせ、しっかりと考えて行動して頂けるよう、ピラを配布しています。

*現在、国交省は笹子トンネル事故の対応に追われ、住民説明会の日程は未定となっています。



国土交通省 関東地方整備局 平成24年11月21日発表 中部横断自動車道(長坂〜八千穂)の新ルート帯2案

詳しくは、裏面へ！！

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団002-7

Q1. あなたにとって、八ヶ岳南麓を横断する高速道路は必要ですか？

A1. “笹子トンネルの天井崩落”の改修をはじめ、今後も老朽化した高速道の整備に莫大な予算が必要となります。現在日本の累積債務は1000兆円以上。中部横断道（長坂～八千穂）ルートは採算が取れない為、国の直轄事業として国税により整備されます。（インター整備に関しては市や県の負担も見込まれます。）ましてや、新しく道路を作るとなると、そのメンテナンスにもさらなる費用がかかります。不要不急の高速道路に、投資する余裕はありません。子や孫の世代に負の遺産を残さないよう、一人ひとりが考えなければなりません。

A2. 八ヶ岳南麓は日本の財産です。道路整備により、美味しい水、澄んだ空気、美しい星空などの自然環境や、雄大な裾野を広げる八ヶ岳の景観は破壊され、豊かで静かな環境を求めて訪れる“観光客”や“移住者”も激減します。高速道路の通過点となり、地域の観光業も衰退します。

A3. 新ルート帯には多くの優良農地、湧水、野鳥やヤマネなどが住む森林が点在しています。動物達の住処も失われ、畑の作物を荒らす“鳥獣被害”が増加する危険性があります。

A4. 4、5メートルの高さの盛土で幅20mの道路が予定されていますが、およそのルートは1km幅で示され、詳細のルートは環境アセス段階でしか明かされません。後継者不足で、持て余している田畑が転売できる可能性はどれくらいあるのでしょうか？高速道路脇の土地に住宅を建てたい人がどのくらいいるのでしょうか？

A5. 3.11以降、私たちは身近な日常の大切さを思い知らされました。震災前の私たちの社会の在り方、価値観、こうしたものを一から見直す必要があります。国交省（国）の政策をしっかりと見定め、不要なものにははっきりと“NO”と言える地域社会・住み良い北杜市を実現しましょう。

近日中に“行政区の回覧”等で、周知される事と思いますが、是非興味を持って頂き“八ヶ岳南麓の自然を守る活動”につなげて頂きますようお願い致します。

■詳細は、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会」<http://cyubu-odando.nanroku.net/>
最新のトピックスなどは<http://chubuodando8-topics.blogspot.jp/>
*トピックス内「中部横断自動車道をめぐる国交省の不可解な動き」にも注目！

■問合せ先：
中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価事務局
国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 計画課 TEL 055-254-6571

北杜市建設部道路河川課 TEL 0551-42-1363 FAX 0551-42-2235

*今後も賛同店、賛同者のご連絡をお待ちしております。

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団003-1

吉岡 大蔵さま

北杜市大泉の住居を終の棲家にして11年の歳月を送っているものです。昨年末に国交省から提案された新ルートが丁度真ん中に位置しています。当然ですが新ルート提案については反対です。新ルートの地域に住む者にとって静かな生活を奪われる不安と怒りは大きなものがあります。

ですから短期で行政の末端組織である下井出地区東組(22世帯)で「高速道路反対対策委員会」が出来、さらに広い範囲での「新ルート沿線住民の会」が立ち上がろうとしています。

中部横断道の建設にあたって地域住民の意見を聞くことを最優先にしてほしいと考えています。以上から地域住民の意思を表している情報(チラシ等)を定期的に送らせていただきます。



前団003-2

静かな生活を破壊する 高速道路に反対します

11月21日発行の国交省の中部横断道の変更ルート図によりますと、ここ大泉町下井出地域を通ることが明らかにされています。

私たち大泉町下井出地域に生活をしている下井出東組(22世帯)は静かな生活を破壊する高速道路に反対します。

これまで提案されていたルートは八ヶ岳大橋を通り別荘地を通って長坂インターに至るものでした。そのルートが別荘地の多くの人たちの反対運動で立ち往生となり急遽、変更ルートが11月に発表されたのです。考えてください。下井出東組の多くの方は自然の中で静かな生活を求めてここ大泉にきた人たちです。美しい景観、美味しい水と空気、このかけがえのない財産を台無しにしてしまう高速道路はいりません。

大泉・高根のみなさん。私たちの「静かな生活を破壊する高速道路に反対」する運動にご理解くださるようお願いいたします。ともに変更ルート撤回に向けて声を上げることをお願いいたします。

本日12月8日に予定されていた現地調査は延期

本日12月8日に予定されていた現地調査は笹子トンネルの崩落事故のため延期されました。笹子トンネル崩落事故は、建設後30~40年経った高速道路の補修点検が急務であることを意味しています。

私たちの命を守るために、新しく高速道路を作るのではなく、今ある日本中の道路を入念に点検し、整備することが求められています。

住民アンケートでは、北杜市民の53%以上が、新しい高速道路建設ではなく、一般道(国道141号)の改良を望んでいます。住民の意向を尊重した施策を望みます。

2012.12.8 大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会

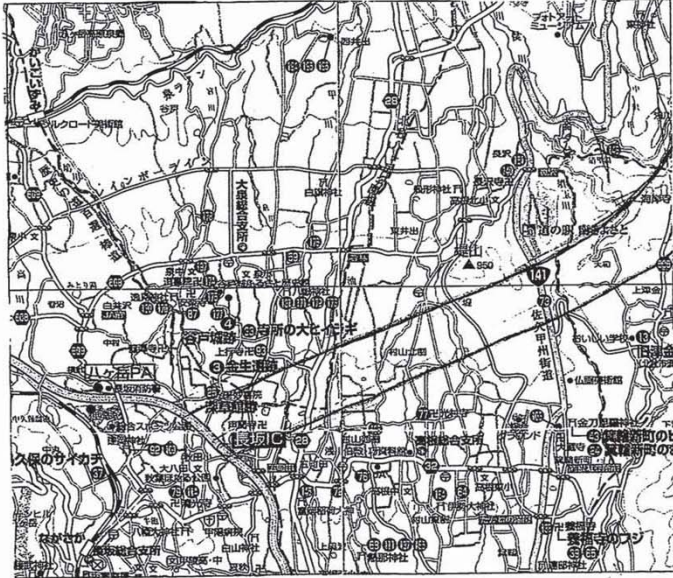


「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団003-3

資料 長坂インター周辺地図と変更ルート



この件についての問い合わせは

国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所計画課

TEL 055-254-6571

北杜市役所道路河川課

TEL 0554-42-1363

前団003-4

美しい景観・静かな生活環境を 守るため高速道路に反対します

趣意書

平成24年11月21日に、中部横断自動車道が長坂インターから大泉町下井出—高根町村山北割—須玉町海岸寺方面を横断する新ルート計画が国交省甲府河川国道事務所より公表されました。

この周辺には、多くの地元住民や美しい景観・静かな生活環境を求めて移住してきた人たちが自然と共生し過ごしています。

先の住民アンケートでは北杜市民の53%以上が、新しい高速道路の建設よりも、一般道(国道141号線)の改良を強く要望しています。もうすぐ現地調査や住民への説明会が行なわれますので、私たちの声が活かされるよう、今一人でも多くの反対の声をあげることが必要です。

日本でも数少ない景観・環境に恵まれた美しい町を守りましょう！！

目の前に高速道路が通り、騒音や排気ガスなどで汚れた町にならないよう、「高速道路反対」の運動にご協力をお願いします。



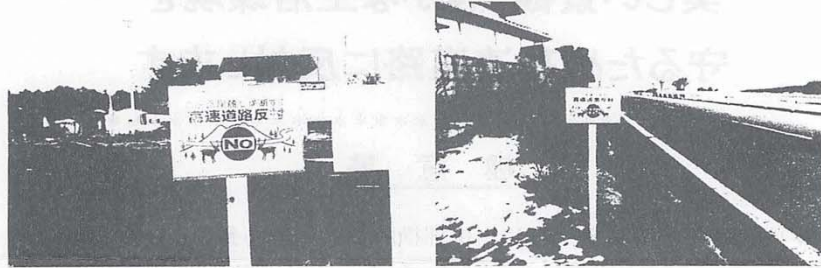
平成24年12月28日
大泉町下井出地区
東組高速道路反対対策委員会

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団003-5

高速道路建設に反対する立看板を設置しました



新ルート案沿線地権者のご協力をいただいて看板を立てました。

北杜市議会での質疑応答

12月21日に行なわれた北杜市議会で千野秀一・岡野淳・中村隆一・斉藤功文氏4名の議員が北杜市長に対し、計画の見直しを国に積極的に働きかけるよう求め、問題の大きさを示していました。

今後の見通し

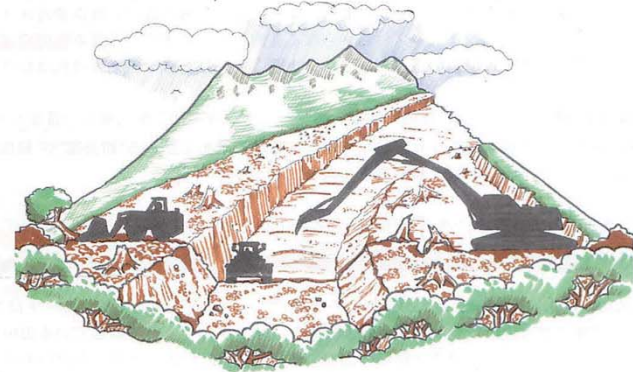
もうすぐ現地調査が行なわれ、また1月には地域住民への説明会が各地域で2回ずつ予定されており、それを既成事実として、早ければ3月には実施が決定されてしまいます。住民説明会や反対活動などを通じて今こそ多くの人々が強い反対の意思を示し、私たちの静かな生活を守らなければなりません。

一人でも多くの積極的な意思表示が必要です。

署名活動や国交省への抗議のハガキなどにご協力をお願いします。

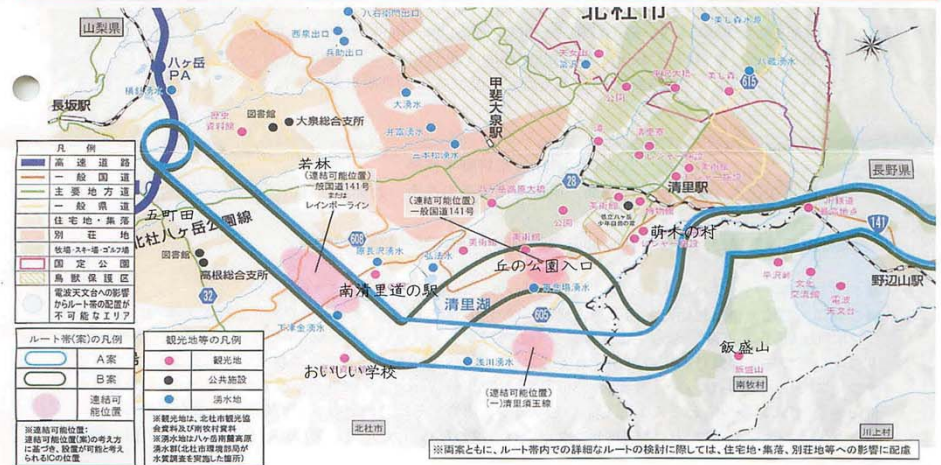
前団003-6

知っていますか？ 高速道路の新ルート案が発表されました！



計画段階評価中の高速は“整備なし”の可能性もあります。今後、国交省主催の住民説明会が6地域で12回開催されます。内容は2時間中、30分が説明、1時間半は住民との意見交換の予定です。これは、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい国の取り組みの試行です。私たちが意見を言わなければ2月末にでも新ルートの高速道路整備が確定するかもしれません！より多くの方に、早くこの情報を知らせ、しっかりと考えて行動して頂けるよう、ビラを配布しています。

* 現在、国交省は笹子トンネル事故の対応に追われ、住民説明会の日程は未定となっています。



国土交通省 関東地方整備局 平成24年11月21日発表 中部横断自動車道(長坂~八千穂)の新ルート帯2案

詳しくは、裏面へ！！

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成24年1月7日)

前団003-7

Q1. あなたにとって、八ヶ岳南麓を横断する高速道路は必要ですか？

A1. “笹子トンネルの天井崩落”の改修をはじめ、今後も老朽化した高速道の整備に莫大な予算が必要となります。現在日本の累積債務は1000兆円以上。中部横断道（長坂～八千穂）ルートは採算が取れない為、国の直轄事業として国税により整備されます。（インター整備に関しては市や県の負担も見込まれます。）ましてや、新しく道路を作るとなると、そのメンテナンスにもさらなる費用がかかります。不要不急の高速道路に、投資する余裕はありません。子や孫の世代に負の遺産を残さないよう、一人ひとりが考えなければなりません。

A2. 八ヶ岳南麓は日本の財産です。道路整備により、美味しい水、澄んだ空気、美しい星空などの自然環境や、雄大な裾野を広げる八ヶ岳の景観は破壊され、豊かで静かな環境を求めて訪れる“観光客”や“移住者”も激減します。高速道路の通過点となり、地域の観光業も衰退します。

A3. 新ルート帯には多くの優良農地、湧水、野鳥やヤマメなどが住む森林が点在しています。動物達の住処も失われ、畑の作物を荒らす“鳥獣被害”が増加する危険性があります。

A4. 4、5メートルの高さの盛土で幅20mの道路が予定されていますが、おおよそのルートは1km幅で示され、詳細のルートは環境アセス段階でしか明かされません。後継者不足で、持て余している田畑が転売できる可能性はどれくらいあるのでしょうか？高速道路脇の土地に住みたい人がどのくらいいるのでしょうか？

A5. 3.11以降、私たちは身近な日常の大切さを思い知らされました。震災前の私たちの社会の在り方、価値観、こうしたものを一から見直す必要があります。国交省（国）の政策をしっかりと見定め、不要なものにははっきりと“NO”と言える地域社会・住み良い北杜市を実現しましょう。

近日中に“行政区の回覧”等で、周知される事と思いますが、是非興味を持って頂き“八ヶ岳南麓の自然を守る活動”につなげて頂きますようお願い致します。

■詳細は、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会」<http://cyubu-odando.nanroku.net/>
最新のトピックスなどは<http://chubuodando8-topics.blogspot.jp/>
*トピックス内「中部横断自動車道をめぐる国交省の不可解な動き」にも注目！

■問合せ先：

中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価事務局
国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 計画課 TEL 055-254-6571

北杜市建設部道路河川課 TEL 0551-42-1363 FAX 0551-42-2235

*今後も質問、質問者のご連絡をお待ちしております。

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成25年1月21日)

前団004-1

吉岡 大蔵さま

1月12日に「新ルート沿線住民の会」の設立総会がありました。参加者名簿だけで236人の人たちが集まりました。会場のいすが足りなくなり玄関わきにあるソファを持ち込みました。会場の改善センターではこれまでで一番の人の集まりと思われました。ルート対象者以外の多くの人も心を痛めていることが感じられました。

ルート対象者の移住者の多くはここ10年くらいの間に南アルプスと八ヶ岳を望めるこの地に住み始めたものです。15年前に長坂にジャンクションが作られることが決定していると聞きました。必要な高速道路は長期的な考えのもとで決められるものです。

今問題になっている中部横断道の新ルートの提案は昨年末の11月に提案されて住民への説明会が行われようとしています。15年前に大まかでもルートの提案をしておけば移住者のほとんどの人が救われていたと思います。国土交通省の今回のアンケートの取り方に始まってルートの変更に至らずに暴論で怒りを感じます。

2013年1月19日

前団004-2

美しい景観・静かな生活環境を守るため高速道路に反対します

署名活動を開始致しました！

中部横断自動車道新ルート案の撤回と国道141号線の改良を求める意思表示として、署名活動を開始しました。まずは、下井出地域の皆様に活動の報告も兼ねた個別訪問をし、多くのご賛同をえて順調に進んでいます。

新しい反対運動が立ち上がっています！

1月12日(土) 13時30分～

“中部横断自動車道新ルート沿線住民の会”の設立総会が高根町農業環境改良センターにて予定されています。より多くの方が自由に反対活動に参加して頂けるように、行政区外の方たちも大勢参加されています。私達“大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会”も協力しながら共に反対活動を推進します。※会場にてステッカー・ハガキの販売があります。

あなたの気持をハガキで国交省に伝えましょう！

これまでの反対活動でも、ハガキ・手紙・電話での個人的な反対の意思表示が、“国交省のルート変更”という動きに至らせました。私達“大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会”でも、1000枚の反対ハガキを作成し、賛同者に実費で購入、発送して頂いています。※ハガキご希望の方は [redacted] ご連絡をお願いします。

ハガキ・メールの宛先 (HPから意見・要望が入力できます)。

国土交通省(本省) 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎3号館

岩田 美幸 国土交通省大臣官房技術調査課 技術企画官

坂 克人 国土交通省大臣官房公共事業調査室

<https://www.mlit.go.jp/road/soudan/form/iken.html>



平成25年1月11日 No.3

大泉町下井出地区

東組高速道路反対対策委員会

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成25年1月21日)

前団004-3

ルポ — 提案された新ルートを行く! —

11月21日に新たに提起された中部横断道新ルートは津金にある海岸寺から長坂インターに向けて1Kの幅で一直線にひかれています。12月某日、長坂インター周辺から海岸寺までをどんな集落があり、どんな人々の生活があるのか東組の数人でルート探索をしました。

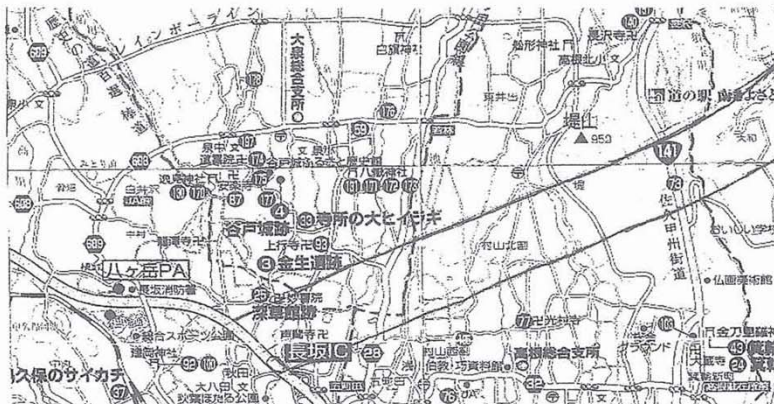
長坂インターからすぐにインター通りに当たります。北は金生遺跡から南はインターそばのホテルまでがルート幅になっています。

ルートは甲川・油川とその周辺の集落と県道を横切る形になっています。私たち東組の家もそこに含まれているのです。高根町に入っすぐに森に入ります。森の中は驚くほどに別荘が点在していました。この別荘の人たちにとっても高速道路の建設は自然の中での静かなやすらぎの時は破壊されます。

森を抜けるとJ A梨北や三階建ての市営住宅のある集落にでます。そこからは標高950mの堤山が目の前に現れます。堤山の南には堤集落があります。ルートはレインボーラインを越し、堤山の南側を通り国道141号を横切ることになっています。この周辺は人家がありません。川俣川を越え津金方面に入っても同様です。リンゴ畑を主に田畑が続く津金。そして海岸寺、浅川の集落、櫻山の集落と続きます。

静かで自然豊かなこの地域を高速道路が切り裂くことに多くの人が心を痛めると思いました。高速道路のメリットを説く人がいます。しかし、このルートの住民にとってどんなメリットがあるのでしょうか。静かな生活を営んでいるこの地域の人々にもたらされるものは景観の破壊と騒音と排気ガスそして高架ともなれば田、畑、家屋の日照や風の影響も避けられません。多くの人々に犠牲を強いる高速道路はいらないと改めて強く感じたルート探索でした。

(文章責任: kあずま)



計画段階評価中の高速道路は、皆さんの意見で決められます! 民意を反映させた「新しい道路行政の成功例」となるよう、私達の活動へご協力をお願い致します。

前団004-4

知っていますか?

高速道路の新ルート案が発表されました!



あなたも「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」に参加しませんか?

日本でも数少ない素晴らしい景観・自然・静かな生活環境は、これまで皆さんが必死に守り続けた大切な宝です。一度失ったらもう二度と手に入れることができないこの大切な財産を守るため、今すぐに反対の声を上げましょう。国土省のアンケート調査でも50パーセント以上の北杜市民が、国道141号線の拡充整備を求めているにもかかわらず八ヶ岳南麓に高速道路をつくらうとしています。私たちはこの計画を阻止するため「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」を設立することとしました。

地元住民も新住民も別荘の人も沿線以外の人も、ひとりでも多くの方がこの会に参加して新ルートを撤回し、国道141号線の改良を求めましょう。

下記により、設立総会が開催されますので、ぜひ参加してください!

- 日時: 平成25年1月12日(土) 13時30分より
- 場所: 高根町農村環境改善センター (高根図書館の隣です)
山梨県北杜市高根町村山北割 3288 電話 0551-47-3970

計画段階評価中の高速は「整備なし」の可能性もあります。今後、国土省主催の住民説明会が6地域で12回開催されます。内容は2時間中、30分が説明、1時間半は住民との意見交換の予定です。これは、地域の声聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい国の取り組みの試行です。私たちが意見を言わなければ2月末にでも新ルートの高速道路整備が確定するかもしれません! より多くの方に、早くこの情報を知らせ、しっかりと考えて行動して頂けるよう、チラシを配布しています。

*現在、国土省は笹子トンネル事故の対応に追われ、住民説明会の日程は未定となっています。

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

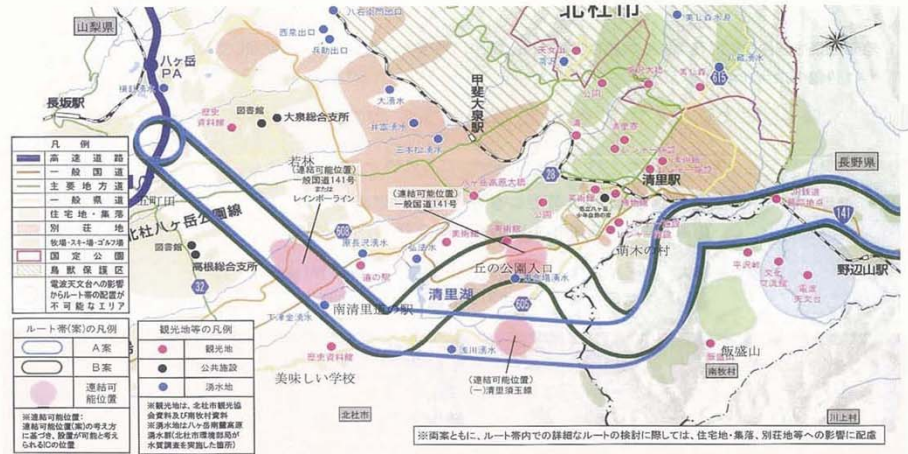
(平成25年1月21日)

前団004-5

Q1. あなたにとって、ハケ岳南麓を横断する高速道路は必要ですか？

- A1. 「笹子トンネルの天井崩落」の改修をはじめ、今後も老朽化した高速道の整備に莫大な予算が必要となります。現在日本の累積債務は1000兆円以上。中部横断道（長坂～八千穂）ルートは採算が取れない為、国の直轄事業として国税により整備されます。（インター整備に関しては市や県の負担も見込まれます。）ましてや、新しく道路を作るとなると、そのメンテナンスにもさらなる費用がかかります。不要不急の高速道路に、投資する余裕はありません。子や孫の世代に負の遺産を残さないよう、一人ひとりが考えなければなりません。
- A2. ハケ岳南麓は日本の財産です。道路整備により、美味しい水、澄んだ空気、美しい星空などの自然環境や、雄大な視野を広げるハケ岳の景観は破壊され、豊かで静かな環境を求めて訪れる「観光客」や「移住者」も激減します。高速道路の通過点となり、地域の観光業も衰退します。
- A3. 新ルート帯には多くの優良農地、湧水、野鳥やヤマメなどが住む森林が点在しています。動物達の住処も失われ、畑の作物を荒らす「鳥獣被害」が増加する危険性があります。
- A4. 4、5メートルの高さの盛土で幅20mの道路が予定されていますが、おおよそのルートは1km幅で示され、詳細のルートは環境アセスメント段階でしか明かされません。後継者不足で、持て余している田畑が転売できる可能性は、いくらあるのでしょうか？高速道路脇の土地に住宅を建てたい人がどのくらいいるのでしょうか？
- A5. 3.11以降、私たちは身近な日常の大切さを思い知らされました。震災前の私たちの社会の在り方、価値観、こうしたものを一から見直す必要があります。国交省（国）の政策をしっかりと見つめ、不要なものにははっきりと「NO」と言える地域社会・住み良い北杜市を実現しましょう。

近日中に「行政区の回覧」等で、周知される事と思いますが、是非興味を持って頂き「ハケ岳南麓の自然を守る活動」につなげて頂きますようお願い致します。



国土交通省 関東地方整備局 平成24年11月21日発表 中部横断自動車道（長坂～八千穂）の新ルート帯2案

第443号

2013年1月1日

前団004-6

ハケ岳ジャーナル

1982年12月創刊 発行日：毎月1日と16日発行
発行地域：北杜市(南野町・道玉町・高根町・長坂町・小淵沢町・白州町・武川町)

中部横断 WG が、ルート視察を実施

今月30日から、地元説明を開始

国土交通省関東地方整備局 中部横断自動車道（長坂～八千穂）の建設計画について、WG（ワーキンググループ）が、現地視察を実施し、ルート視察を実施し、今月30日から、地元説明を開始する。WGは、現地視察を経て、関係機関や地元住民との協議を進め、ルート視察を実施し、今月30日から、地元説明を開始する。WGは、現地視察を経て、関係機関や地元住民との協議を進め、ルート視察を実施し、今月30日から、地元説明を開始する。

中部横断道反対で、住民の会発足

国道141号の改修求め、新たな行動へ



説明会名	日時
大泉総合会議	1/31 19:30～ 2/10 14:00～
長坂総合事務所	1/30 19:30～ 2/3 14:00～
高根農村環境改善センター	2/1 19:30～
清泉堂新館ホール	2/9 14:00～
須玉大正館（農業体験園施設）	2/13 19:30～
須玉ふれあい館	2/16 14:00～
小淵沢総合支所	2/2 14:00～ 2/5 19:30～
平次公民館（長坂）	2/12 14:00～

中部横断道反対で、住民の会発足。国道141号の改修求め、新たな行動へ。住民の会は、国道141号の改修を求め、新たな行動へと動き出す。住民の会は、国道141号の改修を求め、新たな行動へと動き出す。住民の会は、国道141号の改修を求め、新たな行動へと動き出す。

北杜市の地域新聞

八ヶ岳ジャーナルは、北杜市を対象にした地域新聞です。広告掲載のみのご依頼は、毎月1日と16日の2回、北杜市管内に配送して参ります。ニュースの提供、客稿投稿、広告掲載の申し込み、また、印刷代（年間3,600円）をご希望の方は、小社まで、（郵便振替口座 00420-3-5960）
八ヶ岳ジャーナル編集部 ☎ 0551-46-2756、FAX 0551-35-9200
ホームページ <http://www.webtoday.jp/>

「大泉町下出地区東組高速道路反対対策委員会」からの意見

(平成25年1月21日)

前団004-7

(第三種郵便物認可)



現地視察のため訪れた国土交通省の担当者(左)に詰め寄り、計画反対を訴える住民ら
―北社市役所大泉総合支所

中部横断自動車道の長坂―

反対派が「住民の会」設立 国交省の現地調査に抗議

中部横断自動車道の長坂―長野・八千穂間の山梨県側ルートについて、国土交通省が清里高原を迂回する二つの新ルート案を示したことを受け、北社市の沿線住民が12日、計画反対を訴える新団体を立ち上げた。同区間の建設に反対する住民グループは6団体。この日は国土交通省の専門委員会による新ルート案沿線の現地調査もあり、新団体のメンバーが視察会場に詰め掛け、「住民の声を聞け」などと声を張り上げる場面もあった。

新たに発足したのは「ハゲ岳南麓新ルート沿線住民の会」(長田佳久代表。同市内で開かれた設立総会には、沿線住民や建設反対派の市議4

人、既存の反対団体の代表ら約250人が来場。自然環境や生活に悪影響が出るとして、高速道路の新設に反対する設立趣意書を採択し、国などに近く要望書を提出することを決めた。

長田代表は総会で、「ソーシャルネットワークサービスなどを活用し、市や県の枠を超えた活動を展開する」と強調した。

同区間をめぐるのは、国交省社会資本整備審議会の関東地方小委員会が昨年4月に整備方針を決定、国交省は沿線清里高原を横断するルート案を示していたが、市民や別荘所有者からの反対が踏まえ、昨年11月に清里高原を迂回する二つの新たなルート案を示した。

この日ほる案から、採用するルート案を検討している小委員会の専門家が、沿線で現地調査、自然環境や集落の状況のほか、同市高根町付近の国道14号やレインボウラインなど、中部横断道と連結させる候補地を視察した。

専門家が視察のため訪れた同市役所大泉総合支所には、建設反対のプラカードを掲げた同会のメンバーら約40人が詰め掛けた。「自然を壊す高速道路はいらない」「住民の意見を無視するな」などと声を上げ、国交省府河川国道事務所幹部に詰め寄る場面もあった。

〈堀田博之〉